※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭総合（実教出版）						
副教材等	生活学 NAVI（実教出版）、学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自身の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活や社会につながるよう取り組みましょう。

・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、発表したり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分や社会の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもとかかわる	1　子どもとは 2　子どもの発達 3　子どもの生活 4　子どもをはぐくむ 5　子どものための社会福祉	a:・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 ・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 b:・子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 c:・子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。 ・子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	定期考査 作品	定期考査 レポート ワークシート 作品	授業観察 レポート ワークシート 振り返り シート
	ホームプロジェクト	ホームプロジェクト	a:・家族の生活時間や、食・衣・住に関すること、ボランティア活動など、自分で関心のあること、また生活から見えてくる課題を探すことができ、それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 b:・自身の活動についてレポートにまとめることができる。 c:・ホームプロジェクトに意欲的に取り組み、生活課題を解決しようとしている。		レポート 発表	授業観察 発表 自己評価 相互評価 振り返り シート

※令和４年度以降入学生用

2	高齢者とかかわる	1 高齢社会に生きる 2 高齢者を知る 3 高齢者の自立を支える 4 高齢社会を支えるしくみ 1 支えあって生きる 2 共生社会を生きる	a:・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解できる。 b:・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 c:体験学習に積極的に参加し、高齢者の状況を把握しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート ワークシート	授業観察 レポート ワークシート 振り返りシート
	食生活をつくる	1 人と食物のかかわり 2 私たちの食生活 4 食品の選び方と安全	a:・食事の意義や役割について、食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 ・旬の食材にはなにがあるか、なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 ・食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。 b:・地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて、情報を収集してまとめることができる。 c:・食文化や自分自身の食生活について関心をもつとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査	定期考査 レポート ワークシート	授業観察 レポート ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	食生活をつくる	3 栄養と食品のかかわり 5 食事の計画と調理 6 これからの食生活を考える	a:・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、家族の献立を作成することができる。 ・調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:・栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組むことができる。 c:・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。 ・調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 レポート ワークシート	授業観察 レポート ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	消費行動を考える	1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題 3 消費者の権利と責任 4 ライフスタイルと環境	a:・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 ・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 b:・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 ・消費者としての自覚をもち、消費者の権利と責任を考えることができる。 c:・自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート ワークシート	授業観察 レポート ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度